

藍住町の野鳥生息状況

鳥類班 (日本野鳥の会・徳島県支部)

東條 秀徳*

1. はじめに

藍住町は、徳島県の北東に位置する面積16.27km²の町である。吉野川下流域に広がる徳島平野の中央を占め、町全域が標高約5m以下の平地である。

町の南を吉野川が、北縁を旧吉野川が、中央を北西から南東へ正法寺川が流れている。海には面していないが、町の南縁を流れる吉野川は汽水域である。

山地が無いため広い面積の林はなく、統計にも林野面積の記載はないが、町内各地の寺社には、クスノキ、イチヨウ、ムクノキ、エノキ、モチノキなどの大木の混在した社叢が繁り、また、旧吉野川沿いには河畔林が見られる。

農地では、秋から春には、生産量日本一の春ニンジン¹の生産が盛んで、町内各地にビニールハウスが並ぶ。5月から10月にかけては稲田が広がるが、転作等の牧草地も目立つ。また、町の北部や東部にはハス田やナシ畑が見られる。

少子高齢化が進む徳島県にあって、数少ない人口増加自治体のひとつである藍住町は、都市化傾向にあり、住宅や商業施設の建築により、耕作地と住宅地等の混在化が進んでいる。本調査期間中にも、町東南部の千鳥ヶ浜地区の雑草地化していた広大な休耕田で、商業施設建設のため埋め立て工事が始まった。また、徳島自動車道、徳島北環状線、県道、町道、農道などの車道が町内隈なく走っている。

藍住町内には鳥獣保護区は設定されていないが、町域のほとんどが藍住銃猟禁止区域(1,620ha)、名田橋銃猟禁止区域(370ha)あるいは大寺銃猟禁止

区域(20ha)となっている。

野鳥の多くの種の生息には季節性があることから、調査期間を2004年12月から2005年11月の約1年とし、藍住町在住の2人を含む日本野鳥の会徳島県支部会員13人が観察した。観察範囲は藍住町全域とし、双眼鏡および望遠鏡で姿を、あるいは特徴的な鳴き声で確認した野鳥について、その種名と個体数を記録し、一部について写真を撮影した。観察地を地名のみで表現することは困難であり、環境庁自然環境保全基礎調査用地図の、3次メッシュコードの下4桁を併記した(図1)。

なお、藍住町の野鳥生息状況をまとめるにあたり、便宜上、町の自然環境を、河川、耕作地、市街・住宅地、社叢等、と分類した。

2・河川の野鳥

平野に位置し、山地が無く都市化の進む藍住町にあって、吉野川や旧吉野川および正法寺川は自然度の高い環境であり、多種多数の野鳥の生息が確認された。

1) 吉野川

町の南縁は、広大な吉野川河口の一部であり、潮汐があり、中洲や河畔には干潟(写真1)が形成されている。第十堰下流や名田橋北岸河畔にはヨシ群落²が島状あるいは帯状に形成されている(写真2)。広い河川敷は運動場や牧草地として利用されている。名田橋の上下流の両岸では、2004年の台風増水により被災した護岸の復旧工事が行なわれていた。なお、今年も台風による増水があり、河川敷の運動

* 徳島市三軒屋町外24-77



図1 藍住町野鳥生息状況調査用メッシュ地図

場や牧草地では流木や土砂の堆積が見られた。

当地は、広大な水辺環境であり、また銃猟禁止区域ともなっており、1年を通して多種多数の野鳥が観察された。代表的な野鳥の生息状況は以下のとおりである。

①カイツブリ科

ハジロカイツブリとカンムリカイツブリは、県内では個体数の少ない冬鳥だが、当地域では広い水面に浮ぶ姿が、比較的多数観察された。

②カワウ

本種は、全国的に個体数や生息域が増加傾向とされるが、当地でも周年生息が確認された。多い時には、100羽を超える群が、中洲で休息していたり、飛行していた。また名田橋上流河川敷の立木に小さな^{ねぐら}のつりも見られた。

③サギ科

主に第十堰下流と名田橋下流の中洲や浅瀬で、多数のシラサギ類やアオサギが休息あるいは採餌していた。特に夏鳥として渡来したものや、繁殖した若鳥が加わる夏季に多数が観察された。7月31日には



写真1 名田橋下流の干潟とヨシ原



写真2 第十堰下流のヨシ原（ツバメのつり）

カラシサギの若鳥1羽が、第十堰下流でアマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギに混じり、観察されている。

④カモ科

冬期には多数のカモ類が渡来していた。その中で個体数が多かった種とその生息数の記録としては、ヒドリガモ(11月23日2609羽)、ホシハジロ(11月3日276羽)、マガモ(2月5日247羽)、ハシビロガモ(2月5日224羽)がある。その他に当地域で確認されたカモ類は、ツクシガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、アメリカヒドリ、オナガガモ、キンクロハジロ(写真3)、スズガモ、ホオジロガモであり、今回調査では、吉野川で合計15種のカモ類が記録された。

⑤タカ科・ハヤブサ科

生態系ピラミッドの上位に位置するタカ類も合計8種が記録された。ミサゴ、トビ、ハヤブサが周年、オオタカ、ハイタカ、ノスリ、チュウビ、チョウゲンボウが冬期に観察され、当地域を採餌あるいは休息・囿場所として利用していた。

⑥チドリ科・シギ科

河畔や中洲の干潟では、主に春秋の渡り時期に、個体数は少ないものの、シロチドリ、ダイゼン、タゲリ、ハマシギ、エリマキシギ、アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギが飛来し、採餌・休息していた。

⑦ツバメの囿

春に渡来し、民家の^{ひさし}庇^{ひさし}下などの巢での繁殖を終えたツバメは、巢立った若鳥とともに、初夏には広大なヨシ原などで集団囿を形成する。第十堰下流の半島状のヨシ原にも囿が形成されていた。7月30日、31日の早朝未明および8月8日夕方の観察では、計数困難な程の多数が、数群に分かれ、日出前に囿立ち、日没後に囿入りしていた。

⑧ヨシ原の小鳥

河畔の連続したヨシ原では、前記ツバメの他にスズメも囿利用し、ウグイス、ホオジロ(写真4)が留鳥として生息していた。夏季には多数のオオヨシキリが渡来して繁殖し、冬期にはジョウビタキ、ツグミ、オオジュリン、ホオアカが越冬渡来していた。秋には旅鳥のノビタキの姿も見られた。



写真3 水面を泳ぐキンクロハジロ(中央が雄)



写真4 虫をくわえたホオジロ雄



写真5 水面に浮ぶヒドリガモ雄

⑨カラス科

ハシボソガラスやハシブトガラスは、雑食性で、自然界でゴミ処理役(スカベンジャー)を果たしている。第十堰下流のヨシ原の中の立木、中洲川原、河川敷草地などに多数のハシボソガラスを認めたが、これもゴミと無関係ではなからう。

2) 旧吉野川

町の西辺と北辺を流れる旧吉野川は緩やかで水量も多い。川原はなく、河岸はほとんどが自然から半

自然状態である。^{りょうじ}龍池および成瀬では河畔林も形成されている。

旧吉野川の藍住町域も銃猟禁止区域となっているところが多く、冬期にはマガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ（写真5）、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサと多種のカモ類が生息していた。なお、3月下旬、町境近くの上板町側で、国の天然記念物マガンの生息を確認した。また、吉野川では確認できなかったカイツブリの営巣（写真6）や、バン、オオバンの生息を確認した。汽水と淡水という水質の違いや採餌環境の違いが反映したものと思われる。

河畔林やその林縁草地では、県内で個体数の少ないアリスイ（写真7）をはじめ、アオバト、ヒヨドリ、シロハラ（写真8）、ツグミ、ウグイス、メジロなど森林性・林縁性の野鳥が生息していた。

3) 正法寺川

町の中央を北から南東に流れる正法寺川は、その中程で川幅が広くなり、延長約1kmの池状の緩やかで濁った流れとなっている。またその上下流の河畔は遊歩道などの設置された親水護岸となっている。

当地でも秋から春にかけて、主に拡幅部で、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモなど多数のカモ類が観察された。中でもコガモ（写真9）、ハシビロガモ（写真10）の姿が多く、多数時には前者で300羽以上、後者で100羽以上が水面あるいは河岸で休息していた。水面の浮遊物質を幅広い嘴でろ過して採食するハシビロガモの生息密度と、生息する池の水質（COD（化学的酸素要求量）およびSS（浮遊物質））との間に高い正の相関があるとの報告もあり、耕作地や住宅地の間を流れる濁ったこの小河川の水質を示唆している生息状況であろう。

広がった川の両岸には河畔林が残り、冬期にはカワウ、ゴイサギ、ムクドリなどが集団時として利用していた。

また、枝にとまるオオタカ若鳥も観察されたが、多数生息するカモ類を採餌対象と狙って飛来したと思われる。

その他水辺の野鳥では、カイツブリ、バン、オオバン、カワセミなども確認された。



写真6 カイツブリの巣に親子と卵



写真7 枯草の山の上にとまるアリスイ



写真8 エノキの枝にとまるシロハラ

3. 耕作地の野鳥

統計によれば、耕地面積は町面積の約39%にあたる638haである。しかし、いたる所に住宅団地が建設されるなど混住化が進み、大きな広がりを持つ耕作地はなくなってきている。作付け面積では、多い順に、日本一の生産量をあげるニンジンが339ha、水稲280ha、飼料作物34ha、ブロッコリー29ha、レ

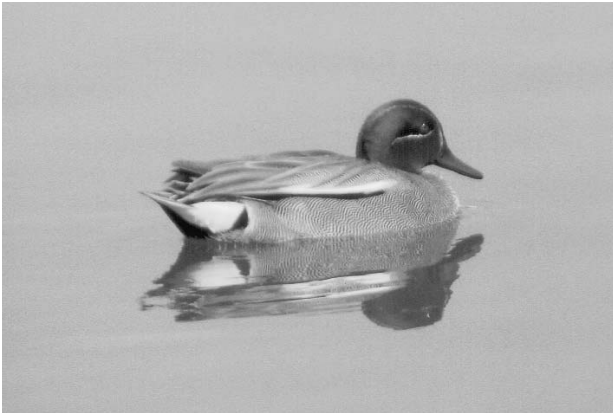


写真9 水面に浮ぶコガモ雄



写真10 水面に浮ぶハシビロガモ雄



写真11 まだ空き間の多いハス田



写真12 ハス田で採餌するチュウサギ（後はコサギ）



写真13 ハス田土手の上のバン成鳥



写真14 ハス田にたたずむクサシギ

ンコン23ha、ナシ23haとなっており、多種の野菜が続いている。ニンジン^{おとせ}は11月～5月にかけて栽培され、冬から春には、町内の広い範囲で白いビニールハウスが見られる。水稻はニンジン収穫後の5月～10月にかけて栽培されるが、この時期には転作と思われる飼料畑も目に付く。レンコンは町の東北部の、乙瀬、矢上、勝瑞^{やかみしょうずい}で栽培され、6月～9月までは大きく繁茂した茎葉がハス田を被う。10月下旬～

11月になると茎葉も枯れ、あるいは収穫作業で除去され、水面や裸地が広がる。

耕作地で野鳥の種類や個体数が多かったのは、ハス田と稲田および休耕田であった。作付け面積が広いニンジン畑やナシ畑では工作物などによる障害もあり、観察される野鳥の姿は少かった。

1) ハス田(写真11)

初夏、水が張られたハス田や休耕田では、茎葉が

繁茂するまでの開放水面でサギ科のアマサギ、ダイサギ、チュウサギ（写真12）、コサギ、アオサギや、クイナ科のバン（写真13）、ヒクイナが採餌・休息し、ハス田上空ではツバメが飛びながら採餌捕虫していた。

秋から春には、茎葉が倒れた、あるいは除去された浅い水面や湿田では、サギ科鳥類に加え、チドリ科のコチドリ、ケリ、シギ科のクサシギ（写真14）、タカブシギ、タシギ（写真15）や、セキレイ科のキセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリといった水辺の鳥が採餌・休息していた。さらに、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラスなどが群で採餌していた。また、夜のハス田水面では、コガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモなどのカモ類が多数飛来し活発に採餌していた。また、日中には枯葉色の体色を背景のハス田に溶け込ませ休息していること多いタシギも、夜中には活発に水中を歩きながら採餌していた。

ハス田の主役とも言えるシギ・チドリだが、今回の藍住町のハス田における記録種数は、近隣の町である、板野町（1987年16種）、北島町（1995年13種）、松茂町（1990年28種）の阿波学会調査記録と比較すると明らかに少ない。ハス田の面積は種数最多の松茂町では広いが、他3町は近似している。調査年度の違いというよりは、比較的まとまった空間のある他町と異なり、住宅が混在して人との距離が近い藍住町のハス田は、シギ・チドリにとって安心・安全な渡りの中継地・休息地ではないのであろう。

2) 水田

初夏、早苗が伸び始めた水田や用水路では、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギが採餌・休息していたが、大きな群を見ることはなかった。

稲の収穫後には、落穂を求めるムクドリの群に、旅鳥のコムクドリの小群も混じっていた。またキジバト、スズメ、ドバトも落穂を求め群れていた。

4. 市街・住宅地の野鳥

徳島県内の市街・住宅地で普通に生息し繁殖する種として、ツバメ、スズメ、ムクドリ、ドバトがあげられる。



写真15 日中のハス田で休むタシギ

ツバメは夏鳥として3月中下旬から4月に渡来し、民家や商店の軒下などに泥と草で椀型の巣を作り繁殖する。藍住町内でも、郵便局、歯科医院、畜舎などで営巣を確認した。しかし、町内各地の街路で商店や民家の皮下などに巣を捜したが、巣を確認することは希であった。

スズメ、ムクドリは本来樹洞営巣性だが、現在は民家の隙間に枯草などを運びこみ営巣することが多い。藍住町内でも、巣材あるいは餌をくわえ、民家の隙間に出入りするスズメ、ムクドリを観察した。

ドバトは飼育鳥が野生化した種であり、生息は人家周辺に限られる。名田橋の橋桁はドバトの集団場所となっておりコンクリートに糞の付着が見られる。集合住宅などで糞害が問題となることもあり、龍池の集合住宅ではベランダに防鳥網が張られていた。

ハクセキレイは、那賀川町における阿波学会調査で県内で初めてその繁殖が確認された野鳥だが、冬季には集団場所を営む習性がある。藍住町でもコンビニエンスストアのある県道交差点の上の電線を約40羽の群が場所としていた。

5. 社叢等の野鳥

藍住町では、山林がない代わりに、大木混じりで比較的広い規模の社叢、所謂「鎮守の杜」が目につく。また、広い屋敷では大木の庭木も見られる。これらの社叢や庭木は、森林生息性の野鳥にとって貴重な生息環境となっている。

ヒヨドリやムクドリなど留鳥は、餌となる木の実や虫を求め群れ集まっていた。ムクドリではクロガネモチの樹洞での営巣も確認した。キジバトとモズ



写真16 クスノキの枝にアオバズク親子

では庭木での営巣繁殖を確認した。ハシボソガラスとハシブトガラスは、春先に多数の社叢で高い枝の上に木の枝を集め巣を作り繁殖していた。

観察事例は少なかったが、夏鳥として渡来する小型のフクロウ類アオバズクも2カ所の社叢で生息していた。その内1ヶ所では雛の巣立ち(写真16)も確認した。地元会員によれば、この2カ所は毎年生息が確認されている場所とのこと、一方、過去には他の複数社叢でも生息していたが最近では観察されていない、とのことである。

クロツグミ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、コサメビタキなど渡り途中の夏鳥も確認した。彼らの渡りにおいて、藍住町の社叢等は貴重な休息地となっているものと推察される。

冬鳥ではハイタカ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、シメの生息を確認した。ハイタカは高木の枝にとまり、あるいは小鳥を追って林間を飛行していた。アカハラ以下4種は社叢の林床で採餌していた。

6. 徳島県版レッドデータブック記載種

今回調査で確認した種の中で、徳島県の絶滅のおそれのある野生生物として記載されている野鳥はカンムリカイツブリ、チュウサギ、カラシラサギ、ツクシガモ、トモエガモ、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、チュウビ、ハヤブサ、シロチドリ、ホウロクシギ、ズグロカモメ、コアジサシ、アオバズク、エゾムシクイの17種である。この内、吉野川では、アオバズク、エゾムシクイを除く15種が記録されており、吉野川が野鳥の重要な生息環境であることがよく示唆されている。

7. 目録

1年間の観察の結果、13日29科104種を記録した。この種数は、吉野川下流平野に位置して山林が無いこと、人口増加傾向、面積など、自然・社会環境の似た近隣の北島町(1995年85種)、松茂町(1990年87種)の阿波学会調査記録と比較して多い数字である。これは、類似環境と言いながらも、他2町とは異なり、吉野川および規模の大きい社叢という二つの環境の存在によるものと思われる。

2004年12月から2005年11月までの約1年間の観察記録から、各種の行動・生息環境などで代表的な記録を、1種について2件までとして「別表 藍住町野鳥目録」に記載した。その中で、ドバトについては、日本鳥類目録に従い外来種として区別した。種名の下に行に、左から、西暦年下2桁/月/日、個体数、地名、メッシュ番号の順に、さらに次の行に、環境または行動などを記載した。

調査参加者

白井恒夫、笠井正、金子義次、四宮康平、柴折史昭、関憲二、東條秀徳、中川澄男、新居正利、橋本修一、増谷正幸、三ツ井政夫、三宅武

写真撮影者

写真1、2、4、11、12、13、15：東條秀徳

写真3、5、7、8、14：三ツ井政夫

写真6、16：白井恒夫

写真9、10：三宅武

文献

浅間茂・山城隆(1987)：ガンカモ類とCOD値との関係、*Strix*, vol.6, pp.96-102.

環境庁自然保護局野生生物課(1993)：『日本産野生生物目録-本邦産野生動物種の現状-脊椎動物編』、自然環境研究センター。

助日本野鳥の会愛媛県支部(1992)：『愛媛の野鳥 観察ハンドブック はばたき』、愛媛新聞社。

中国四国農政局徳島統計情報事務所(2004)：『徳島農林水産統計年報、徳島農林水産統計協会。』

東條秀徳(1996)：北島町の野鳥、阿波学会紀要第46号、43-62頁、阿波学会・徳島県立図書館。

徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会(2001)：『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物-徳島県版レッドデータブック』、徳島県環境生活部環境生活課。

徳島県 (2004) : 『徳島県鳥獣保護区等位置図 (平成16年度)』、徳島県。
 中村登流・中村雅彦 (1995) : 『原色日本野鳥生態図鑑陸鳥編』、保育社。
 中村登流・中村雅彦 (1995) : 『原色日本野鳥生態図鑑水鳥編』、保育社。
 日本鳥類目録編集委員会 (2000) : 『日本鳥類目録 (改定第6版)』、日本鳥学会。
 日本野鳥の会徳島県支部目録部 (1988) : 『徳島県野鳥目録』、日本野鳥の会徳島県支部
 増谷正幸ほか (1988) : 『板野町の鳥類、郷土研究発表会紀要第34号、61～82頁、阿波学会・徳島県立図書館。』
 増谷正幸 (1991) : 『松茂町の鳥類、郷土研究発表会紀要第37号、53～76頁、阿波学会・徳島県立図書館。』
 増谷正幸 (1995) : 『那賀川町の鳥類、阿波学会紀要第41号、64～65頁、阿波学会・徳島県立図書館。』

6	アマサギ <i>Bubulcus ibis</i>	05/7/3	12	成瀬	1369
	ハス田や水田に囲まれた草丈低い休耕田。				
		05/9/9	25	名田橋下流	1420
	台風14号の被害が大きい吉野川に。				
7	ダイサギ <i>Egretta alba</i>	05/12/30	3	正法寺川	1359
	河畔に。				
		05/3/20	5	名田橋	1420
	夏羽1、冬羽4。吉野川干潟上で1群となって休む。				
8	チュウサギ <i>Egretta intermedia</i>	04/12/5	1	富吉	1369
	冬羽、ハス田で採餌。				
		05/8/1	5	第十堰下流	1337
	水路の水辺。				
9	コサギ <i>Egretta garzetta</i>	05/3/20	27	名田橋	1420
	吉野川の干潟上で1群となって休む。				
		05/10/22	34	乙瀬字青木	1369
	茎や葉が除かれたハス田で採餌、休息。				
10	カラシラサギ <i>Egretta eulophotes</i>	05/7/31	1	第十堰下流	1337
	若鳥。				
11	アオサギ <i>Ardea cinerea</i>	04/12/25	1	龍池	1348
	旧吉野川河畔。				
		05/8/1	11	第十堰下流	1337
	吉野川の水辺。				

別表 藍住町野鳥目録

◎ カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES

○ カイツブリ科 Podicipedidae

1	カイツブリ <i>Tachybaptus ruficollis</i>	04/12/11	1	住吉橋下	1460
	旧吉野川。魚を捕らえた。				
		05/7/17	3	龍池	1348
	成2ヒナ1卵3。旧吉野川ヒシ群落の中に1巣。その上流100m付近にヒナ3羽連れた成鳥2羽。				
2	ハジロカイツブリ <i>Podiceps nigricollis</i>	04/12/5	7	名田橋	1420
	吉野川左岸近く、1群で浮かんでいた。				
		05/2/5	1	名田橋	
	吉野川の川面を泳ぐ。				
3	カンムリカイツブリ <i>Podiceps cristatus</i>	04/12/5	15	名田橋	1420
	吉野川の川面を上流に向けて泳ぐ。				
		05/2/5	2	名田橋	1329
	吉野川。				

◎ ペリカン目 PELECANIFORMES

○ ウ科 Phalacrocoracidae

4	カワウ <i>Phalacrocorax carbo</i>	04/12/25	28	正法寺川	1359
	左岸の落葉広葉樹に峙。				
		05/1/29	1	乙瀬字乾	1379
	ウナギをくわえていた。				

◎ コウノトリ目 CICONIIFORMES

○ サギ科 Ardeidae

5	ゴイサギ <i>Nycticorax nycticorax</i>	04/12/25	33	正法寺川	1359
	左岸の竹林に峙。				
		05/7/3	6	徳命	1430
	小雨の早朝、上空を飛行。				

◎ カモ目 ANSERIFORMES

○ カモ科 Anatidae

12	ツクシガモ <i>Tadorna tadorna</i>	05/2/5	1	名田橋	1420
	吉野川。				
		05/2/26	4	名田橋下流	1329
	吉野川の中洲。				
13	マガモ <i>Anas platyrhynchos</i>	04/12/25	60	龍池	1348
	旧吉野川。				
		04/12/30	130	龍池	1348
	旧吉野川の水面や河畔に。				
14	カルガモ <i>Anas poecilorhyncha</i>	05/2/5	8	名田橋上流	1329
	吉野川。				
		05/7/3	1	正法寺川	1440
	小雨の早朝、川面を泳ぐ。				
15	コガモ <i>Anas crecca</i>	04/12/25	13	勝瑞	1452
	城跡の堀や土手。				
		05/5/1	220	正法寺川	1359
	川面や河岸に。				
16	トモエガモ <i>Anas formosa</i>	05/2/5	1	名田橋下流	1420
	雄。吉野川。				
		05/2/6	2	名田橋下流	1329
	吉野川。				
17	ヨシガモ <i>Anas falcata</i>				

- 04/12/5 7 乙瀬 1460
雄4雌3。旧吉野川右岸にマガモ多数と浮かぶ。
- 05/2/5 12 名田橋上流 1329
吉野川。
- 18 オカヨシガモ *Anas strepera*
04/12/25 4 正法寺川 1359
水面に。
- 05/4/14 10 東中富 1347
旧吉野川。
- 19 ヒドリガモ *Anas penelope*
05/12/25 12 龍池 1348
旧吉野川の水面や河畔に。
- 05/3/20 37 祖母ヶ島 1337
川の中で泳いでいた。
- 20 アメリカヒドリ *Anas americana*
04/12/30 1 名田橋 1329
雄、吉野川。
- 21 オナガガモ *Anas acuta*
05/3/6 12 名田橋 1420
雄7雌5、吉野川。
- 05/3/20 3 祖母ヶ島 1337
川の中で泳いでいた。
- 22 ハシビロガモ *Anas clypeata*
04/12/25 1 勝瑞城跡 1359
雌。堀に。
- 05/2/5 176 名田橋 1420
吉野川。
- 23 ホシハジロ *Aythya ferina*
04/12/30 15 名田橋 1329
吉野川の水面に。
- 05/1/27 2 龍池 1348
雄。旧吉野川に浮んでいた。
- 24 キンクロハジロ *Aythya fuligula*
05/2/11 16 乙瀬字乾 1379
旧吉野川で泳いでいた。
- 05/7/24 1 成瀬 1378
雌。旧吉野川に浮び泳ぐ。7/30にも確認。
- 25 スズガモ *Aythya marila*
05/1/2 2 名田橋 1420
吉野川。ホシハジロの群れと共に浮んでいた。
- 05/2/3 1 東中富 1347
旧吉野川。
- 26 ホオジロガモ *Bucephala clangula*
04/12/25 2 吉野川 1338
左岸沿いで潜水を繰り返す。
- 27 ミコアイサ *Mergus albellus*
05/1/21 1 東中富 1347
雄、旧吉野川でキンクロハジロ5羽と泳いでいた。
- 05/2/3 1 東中富 1347
旧吉野川。
- ◎ タカ目 FALCONIFORMES
○ タカ科 Accipitridae
- 28 ミサゴ *Pandion haliaetus*
04/12/18 1 小塚 1328
吉野川上空を上流に向かい飛行。
- 05/5/1 1 正法寺川
- ホバリング後急降下して魚を捉えた。
- 29 ハチクマ *Pernis apivorus*
05/9/18 3 成瀬 1369
晴天。連続して上空を西南西へ渡り飛行。
- 30 トビ *Milvus migrans*
05/3/20 1 祖母ヶ島 1337
空を舞いながら鳴いていた。
- 05/7/16 3 名田橋 1329
吉野川の中洲川原に休んでいた。
- 31 オオタカ *Accipiter gentilis*
05/1/22 1 名田橋 1329
成鳥。
- 05/11/23 1 正法寺川 1359
若鳥。晴天の午後南岸のエノキにとまっていた。
- 32 ハイタカ *Accipiter nisus*
05/11/19 1 第十堰下流 1337
未明。半島状のヨシ原のヤナギにとまっていた。
- 05/11/23 1 春日
春日神社社叢で枝にとまったり木の間を飛ぶ。
もう1羽小型ハイタカ類1羽も枝の間を飛ぶ。
- 33 ノスリ *Buteo buteo*
05/2/11 1 第十堰下流 1337
河川敷の木にとまっていた。
- 34 サシバ *Butastur indicus*
05/9/18 4 成瀬 1369
晴天。1羽ずつ上空を西南西へ渡り飛行。
- 35 チュウヒ *Circus spilonotus*
04/12/18 1 第十堰下流 1337
雌。吉野川左岸の畑上空を下流に向かい飛行。
- 05/2/26 1 祖母ヶ島 1337
カラスに追われ吉野川北岸から南岸上流へ飛去。
- ハヤブサ科 Falconidae
- 36 ハヤブサ *Falco peregrinus*
04/12/30 1 名田橋 1329
成鳥、橋下の川原に立つ杭の上にとまっていた。
- 05/1/2 1 名田橋 1420
若鳥、中洲の干潟に降りていた。
- 37 チョウゲンボウ *Falco tinnunculus*
04/12/18 1 小塚 1328
雄。吉野川堤防上を下流から上流へ飛行。
- 05/2/26 1 祖母ヶ島 1337
雌、吉野川左岸堤防斜面草地に降下。
- ◎ キジ目 GALLIFORMES
○ キジ科 Phasianidae
- 38 キジ *Phasianus colchicus*
05/5/8 1 矢上 1460
北から鳴き声。
- 05/5/21 2 乙瀬北新田 1460
成鳥雄雌、旧吉野川左岸草地で採餌、その後畑へ
- ◎ ツル目 GRUIFORMES
○ クイナ科 Rallidae
- 39 ヒクイナ *Porzana fusca*
05/6/11 1 千鳥ヶ浜 1430
雑草の繁茂した休耕地。
- 05/9/10 1 成瀬 1379

- ハス田の間の休耕田で草の中を逃げる。
- 40 バン *Gallinula chloropus*
 05/5/29 4 乙瀬字中田 1460
 まだ隙間の多いハス田。
 05/8/27 2 成瀬 1369
 若1成1。ハス田に挟まれた水を張った休耕田。
- 41 オオバン *Fulica atra*
 05/1/27 15 乙瀬 1460
 旧吉野川に浮かび時々潜水。
 05/1/28 4 勝瑞 1452
 勝瑞城址の堀に。
- ◎ チドリ目 CHARADRIIFORMES
 ○ チドリ科 Charadriidae
- 42 コチドリ *Charadrius dubius*
 05/6/11 2 徳命
 雑草の繁茂した休耕田上空を鳴きながら飛行。
 05/11/27 12 乙瀬字中田 1460
 成5若7、収穫中のハス田で採餌。
- 43 シロチドリ *Charadrius alexandrinus*
 05/1/2 19 名田橋下流 1420
 ハヤブサ飛去後、中洲干潟で休んでいた。
 05/2/12 6 名田橋下流 1420
 吉野川の干潟にハマシギ3羽と一緒にいた。
- 44 ダイゼン *Pluvialis squatarola*
 05/7/30 20 名田橋下流 1420
 吉野川の干潟で群れになっていた。
- 45 ケリ *Vanellus cinereus*
 05/4/24 1 富吉字稲実 1369
 ハス田でたたずんでいた。
- 46 タゲリ *Vanellus vanellus*
 05/11/27 5 小塚 1328
 吉野川の水際で休んでいた。
- シギ科 Scolopacidae
- 47 ハマシギ *Calidris alpina*
 05/2/12 3 名田橋 1420
 吉野川の干潟にシロチドリ3羽と一緒にいた。
 05/11/27 18 名田橋 1329
 下流から飛来、吉野川の干潟で採餌。
- 48 エリマキシギ *Philomachus pugnax*
 05/3/6 1 名田橋下流 1420
 雄中間羽、吉野川左岸干潟で採餌。
 05/3/20 2 名田橋下流 1420
 雌中間羽、吉野川の干潟で採餌。
- 49 アオアシシギ *Tringa nebularia*
 05/9/18 1 吉野川第十堰下流 1336
 増水した川の石原中州の上流端。時に鳴き声。
 05/10/2 5 名田橋下流 1420
 吉野川左岸、一群で採餌。
- 50 クサシギ *Tringa ochropus*
 05/5/8 1 成瀬
 ハス田のコンクリート畦に。
 05/8/5 2 鳴門藍住大橋 1460
 旧吉野川の水面を東から西へ飛行。
- 51 タカブシギ *Tringa glareola*
 05/4/24 2 乙瀬字中田 1460
 夏羽、ハス田に2羽並んで休んでいた。
- 05/11/6 7 乙瀬字中田 1460
 収穫前後のハス田で採餌。
- 52 キアシシギ *Heteroscelus brevipes*
 05/8/20 1 名田橋上流 1329
 前川樋門放水路沿いコンクリート護岸で休息。
 05/10/2 1 名田橋下流 1420
 多種のシギと一群で吉野川左岸で採餌。
- 53 イソシギ *Actitis hypoleucos*
 04/12/25 1 龍池 1348
 旧吉野川の水面を飛行。
 05/5/1 1 祖母ヶ島 1337
 牛糞を撒布した河川敷の畑。
- 54 ソリハシシギ *Xenus cinereus*
 05/8/27 4 名田橋下流 1420
 吉野川左岸のヨシ原沿い湿地で採餌。
 05/9/2 8 名田橋下流 1420
 吉野川左岸のヨシ原沿い湿地で採餌。
- 55 ホウロクシギ *Numenius madagascariensis*
 05/3/20 1 名田橋 1420
 吉野川の干潟で採餌休息。
- 56 チュウシャクシギ *Numenius phaeopus*
 05/5/15 1 名田橋下流 1329
 吉野川中洲干潟
 05/9/18 2 名田橋下流 1329
 吉野川左岸ヨシ原沿い干潟
- 57 タシギ *Gallinago gallinago*
 05/5/8 2 成瀬 1369
 ハス田で採餌。
 05/10/22 9 乙瀬字中田 1460
 茎が枯れたり倒れたハス田で休息。
- カモメ科 Laridae
- 58 ユリカモメ *Larus ridibundus*
 05/1/21 50+ 名田橋 1420
 カモメとともに中洲干潟に降りて休んでいた。
 05/2/5 159 名田橋下流 1420
 吉野川の干潟状の中洲に降りていた。
- 59 セグロカモメ *Larus argentatus*
 04/12/18 2 名田橋下流 1420
 吉野川の干潟に降りていた
 05/3/27 1 乙瀬 1460
 成鳥、旧吉野川の上を上流に向かい飛ぶ。
- 60 カモメ *Larus canus*
 04/12/18 2 名田橋下流 1420
 吉野川干潟にユリカモメ、ウミネコと混群
 05/1/21 2 名田橋下流 1420
 鳥状の干潟に降りて休んでいた。
- 61 ウミネコ *Larus crassirostris*
 04/12/18 5 名田橋下流 1420
 吉野川干潟にユリカモメ、カモメと混群
 05/3/20 14 祖母ヶ島 1337
 吉野川。砂の上にいた。
- 62 ズグロカモメ *Larus saundersi*
 05/2/26 2 名田橋下流 1329
 干潮に向かう中洲。
 05/3/20 1 名田橋下流 1420
 夏羽。採餌で飛び回る。
- 63 コアジサシ *Sterna albifrons*

- 05/4/23 2 名田橋下流 1329
吉野川上空を飛行。
- ◎ **ハト目 COLUMBIFORMES**
- ハト科 Columbidae
- 64 キジバト *Streptopelia orientalis*
05/6/23 2 矢上前 1359
庭の棒ガシの木に営巣。
05/7/3 3 矢上前 1349
成1雛2、道路沿い店舗庭木のモクセイに営巣。
- 65 アオバト *Sphenurus sieboldii*
05/1/27 1 成瀬 1368
雌、旧吉野川河畔林のエノキにとまっていた。
- ◎ **フクロウ目 STRIGIFORMES**
- フクロウ科 Strigidae
- 66 アオバズク *Ninox scutulata*
05/5/26 2 住吉字神蔵 1440
21:30。晴れた夜、クスノキにとまり鳴く。
05/7/13 5 元村 1339
成2ヒナ3。AM11:28木の枝で休む。
- ◎ **ブッポウソウ目 CORACIIFORMES**
- カワセミ科 Alcedinidae
- 67 カワセミ *Alcedo atthis*
04/12/25 1 龍池 1348
旧吉野川水面を飛行後、河岸のヤナギにとまる。
05/7/16 1 正法寺川 1359
左岸竹林。水面に傾いた竹の枝にとまる。
- ◎ **キツツキ目 PICIFORMES**
- キツツキ科 Picidae
- 68 アリスイ *Jynx torquilla*
04/12/10 1 龍池 1448
枯草の山の上にとまる。
- ◎ **スズメ目 PASSERIFORMES**
- ヒバリ科 Alaudidae
- 69 ヒバリ *Alauda arvensis*
05/3/20 10 祖母ヶ島 1337
飛びながらさえずっていた。
05/4/2 14 祖母ヶ島 1337
飛びながらさえずり、草の中へ降下。
- ツバメ科 Hirundinidae
- 70 ショウドウツバメ *Riparia riparia*
05/10/23 2 北新田
農地上空を西へ飛去。
- 71 ツバメ *Hirundo rustica*
05/4/8 2 東中富 1338
牛舎の古巣に帰巣。
05/8/24 >3000 名田～乙瀬
18:30頃、西へ飛去。
- 72 コシアカツバメ *Hirundo daurica*
05/7/24 1 成瀬 1379
旧吉野川の上を飛び採餌。
- セキレイ科 Motacillidae
- 73 キセキレイ *Motacilla cinerea*
04/12/5 1 乙瀬 1460
雄冬羽。旧吉野川右岸で採餌。
05/10/22 1 乙瀬字中田 1460
収穫後の水の少ないハス田。
- 74 ハクセキレイ *Motacilla alba*
05/5/29 1 西地 1451
雄夏羽、路上の電線にとまっていた。
05/7/31 1 第十堰下流 1337
若鳥。川原。
- 75 セグロセキレイ *Motacilla grandis*
05/5/15 1 乙瀬字中田 1460
幼鳥。ハス田隣の車道で虫を取る。
05/7/3 1 逆藤 1441
幼鳥。小雨の早朝、車道に。
- 76 タヒバリ *Anthus spinoletta*
05/1/29 6 乾 1379
ススキの幹にとまっていた。
05/3/27 7 第十堰下流 1337
河川敷の耕起した畑で採餌。
- ヒヨドリ科 Pycnonotidae
- 77 ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*
05/1/29 6 乾 1379
ミカンの木や電線にとまっていた。
05/2/12 2 乙瀬 1460
カキとモモの果樹園。
- モズ科 Laniidae
- 78 モズ *Lanius bucephalus*
05/3/20 1 祖母ヶ島 1337
木にとまって尾を振っていた。
05/6/23 2 矢上前 1359
庭のスモモの木に営巣。
- ツグミ科 Turdidae
- 79 ジョウビタキ *Phoenicurus aureoreus*
04/12/18 1 名田橋 1329
雄。吉野川左岸の木の枝にとまっていた。
05/4/2 1 祖母ヶ島 1337
小枝にとまっていた。
- 80 ノビタキ *Saxicola torquata*
05/10/15 1 祖母ヶ島 1337
冬羽。吉野川左岸のヨシにとまっていた。
- 81 イソヒヨドリ *Monticola solitarius*
04/12/10 1 龍池 1448
雌。ダイコン畑で採餌。
- 82 クロツグミ *Turdus cardis*
05/4/13 1 矢上前 1359
雌。ツグミ、ヒヨドリ、セグロセキレイ等と一緒に。
05/4/15 1 和田 1349
雄。最終確認は5/7。
- 83 アカハラ *Turdus chrysolaus*
04/12/12 1 東中富 1338
若一王子神社のクスノキ林林床で採餌。
- 84 シロハラ *Turdus pallidus*
04/12/25 2 東中富 1338
若一王子神社のクスノキ林。
05/5/24 1 春日 1369
春日神社裏の林で採餌。
- 85 ツグミ *Turdus naumanni*

05/2/11	2	乾	1379	96	オオジュリン <i>Emberiza schoeniclus</i>	
ミカン畑で採餌。				05/2/5	11	東中富
05/4/2	10	祖母ヶ島	1337	吉野川河畔のヨシ原。		
畑の中で採餌。				05/2/5	2	名田橋
○	ウグイス科 <i>Sylviidae</i>			吉野川左岸のヨシ原。		
86	ウグイス <i>Cettia diphone</i>			○	アトリ科 <i>Fringillidae</i>	
04/12/25	2	龍池	1348	97	カワラヒワ <i>Carduelis sinica</i>	
地鳴、旧吉野川河畔林。				05/4/2	6	祖母ヶ島
05/4/23	1	第十堰下流	1337	小枝に群れになってとまっていた。		
中洲ブッシュから、さえずり声。				05/4/24	2	富吉
87	オオヨシキリ <i>Acrocephalus arundinaceus</i>			富吉神社のクスノキにとまっていた。		
05/4/23	2	名田橋	1329	98	シメ <i>Coccothraustes coccothraustes</i>	
早朝に河岸ヨシ原でさえずる。				04/12/11	2	成瀬
05/7/3	5	徳命	1430	富吉神社境内で採餌。		
ヨシ、セイタカアワダチソウ等繁茂した休耕田。				○	ハタオリドリ科 <i>Ploceidae</i>	
88	エゾムシクイ <i>Phylloscopus borealoides</i>			99	スズメ <i>Passer montanus</i>	
05/5/15	1	東中富	1338	05/7/16	成1 巣3	乙津字川口
早朝に民家庭のクスノキ大木でさえずる。				土地改良区建物の庇に営巣。1 巣から鳴声。		
89	センダイムシクイ <i>Phylloscopus coronatus</i>			05/9/6	>200	奥野字和田
05/8/31	2	笠木	1460	藍住南小学校のサクラの木を聳としている。		
病院庭のヤナギの木から木へ飛ぶ。				○	ムクドリ科 <i>Sturnidae</i>	
90	セッカ <i>Cisticola juncidis</i>			100	コムクドリ <i>Sturnus philippensis</i>	
05/4/23	2	第十堰下流	1337	05/5/1	4	成瀬
採草地やヨシ原。				湿田から飛び立ち河畔林へ。		
05/6/11	1	住吉字千鳥ヶ浜	1430	05/9/13	12	乙瀬字中田
休耕田雑草地で、枯れ草の先にとまりさえずる。				水田やハス田の中の電線にムクドリと混群。		
○	ヒタキ科 <i>Muscicapidae</i>			101	ムクドリ <i>Sturnus cineraceus</i>	
91	コサメビタキ <i>Muscicapa dauurica</i>			05/5/21	2	徳命字元村
05/5/1	1	春日	1369	成鳥2、クロガネモチの樹洞に虫をくわえ入る。		
早朝に、春日神社境内の林で枝移り。				05/9/3	>2000	東中富ワンドの森
○	メジロ科 <i>Zosteropidae</i>			5:30頃、大集団聳立ち。		
92	メジロ <i>Zosterops japonicus</i>			○	カラス科 <i>Corvidae</i>	
04/12/25	6	東中富	1338	102	ハシボソガラス <i>Corvus corone</i>	
若一王子神社の社叢。				05/3/27	1 成1 巣	祖母ヶ島
05/1/27	12	成瀬	1368	落葉樹の枝で営巣中。		
富吉神社境内の木を一群で枝移り。				05/4/24	1 成1 巣	春日
○	ホオジロ科 <i>Emberizidae</i>			春日神社境内のムクノキで抱卵中。		
93	ホオジロ <i>Emberiza cioides</i>			103	ハシブトガラス <i>Corvus macrorhynchos</i>	
04/12/18	2	名田橋	1329	05/4/23	1 巣	住吉
雄雌。吉野川左岸の木の枝。				住吉神社境内のクスノキ大木の枝先高くに営巣。		
05/3/20	6	祖母ヶ島	1337	05/4/23	1 巣	名田
ヨシにとまっていた。				八坂神社クスノキ大木に営巣。		
94	ホオアカ <i>Emberiza fucata</i>			(外来種)		
05/4/24	1	名田橋	1329	104	ドバト <i>Columba livia</i>	
吉野川左岸ヨシ原の枯れヨシ茎にとまっていた。				05/2/27	2	徳命字元村
95	アオジ <i>Emberiza spodocephala</i>			八幡神社の屋根にとまっていた。		
05/2/5	1	名田橋	1329	05/2/27	2	住吉
吉野川左岸のヨシ原。				住吉神社境内で採餌。		
05/2/12	1	成瀬	1368			